

製品名: SFRS11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17797**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	SRSF11
別名	SRSF11; SFRS11; Serine/arginine-rich splicing factor 11; Arginine-rich 54 kDa nuclear protein; p54; Splicing factor; arginine/serine-rich 11
遺伝子 ID	9295.0
SwissProt ID	Q05519
免疫原	抗血清はヒト SFRS11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

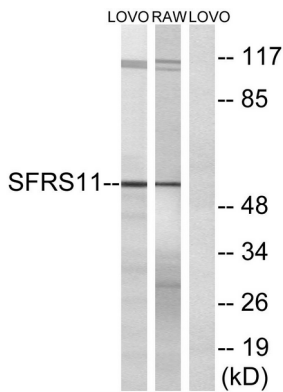
この遺伝子は、プレ mRNA スプライシング因子に見られるセグメントに類似したアルギニン / セリンに富む領域を含む 54kD の核タ

ンパク質をコードしています。このタンパク質の機能はまだ解明されていませんが、構造および免疫局在解析データから、プレ mRNA のプロセッシングにおいて役割を果たしている可能性が示唆されています。選択的スプライシングにより、異なるタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。さらに、この遺伝子の擬似遺伝子が 12 番染色体上に発見されています。[RefSeq 提供、2010 年 9 月],機能: プレ mRNA スプライシングにおいて機能する可能性がある。類似性: スプライシング因子 SR ファミリーに属する。類似性: 1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。細胞内局在: スプライソソーム構成因子と共局在する。サブユニット: PUF60 と相互作用する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; DNA/RNA; RNA プロセッシングとスプライシング

画像データ



SFRS11 抗体を用いた LOVO 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。